

【総括表】

部局(庁)名	出納局
--------	-----

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(県庁舎等)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	秋田県庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	秋田地方総合庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	秋田県庁第二庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

行政施設の本庁及び地方機関の機能を有する施設であり、各施設の長寿命化を図るとともに、災害時の防災拠点としての機能を維持するための強靱化を図る必要がある。
建設後の経過年数に応じて機能低下が進行するため、定期的な点検、診断に基づく大規模修繕を実施することにより、予防保全型管理を行う。

1	施設名	秋田県庁舎
---	-----	-------

1 施設の概要

施設名称	秋田県庁舎	所在地	秋田市山王四丁目1-1
施設面積	32,206.56 m ²	建設年	S34
構造・階数	RC造・7階（地下1階）	台帳価格	547,987,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・県の本庁機能としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

※ 集約・複合化の検討について

・県の本庁機能としての施設ではあるが、建替え時には、隣接する秋田地方総合庁舎、議会棟、県庁第二庁舎、県警本庁舎を含め、施設のあり方について検討する。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数78年】

・建築後60年以上経過しているが、平成22年に耐震改修を終えており構造的には健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。
・一定年数経過後は、点検・診断等を行い、建替え時期について検討する。

4 管理上の課題等

・設備の老朽化による小規模な修繕の頻度が年々増えつつある。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

5 管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、エレベーター更新をはじめ、順次、空調設備、給排水管設備、受変電設備、電話設備等を更新することにより、防災拠点としての機能を維持するとともに、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田県庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	粉末消火設備更新、防火戸改修ほか	114,455	
H28	議会棟膨張タンク交換修繕など小破修繕	30,262	
H29	エレベーター改修、議会棟議場他防水改修ほか	150,268	
H29	建具修繕など小破修繕	14,130	
H30	エレベーター改修、議会棟議場天井改修ほか	235,803	
H30	本庁舎執務室間仕切り修繕など小破修繕	13,772	
R1	空調熱源更新、登退庁表示設備更新ほか	176,208	
R1	本庁舎窓修繕など小破修繕	11,733	
R2	空調熱源更新、本庁舎他受変電設備改修ほか	182,743	
R2	県庁舎火災感知器修繕など小破修繕	3,663	
R3	中央監視設備改修、受変電設備改修ほか	343,365	
R3	議会棟新館車寄せ軒天修繕など小破修繕	6,970	
R4	空調自動制御設備改修ほか	277,629	
R4	県庁舎消防設備修繕など小破修繕	6,467	
R5	車寄せ改修、電話設備更新設計ほか	65,835	
R5	本庁舎窓ほか建具修繕など小破修繕	17,406	
R6	電話設備更新設計、外部改修設計ほか	13,893	
	(合 計)	1,664,602	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	98,145	94,302	95,247	
運用コスト	44,688	47,140	43,808	
修繕コスト	126,969	221,532	135,689	
その他	0	0	0	
(合計)	269,802	362,974	274,744	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

2	施設名	秋田地方総合庁舎
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田地方総合庁舎	所在地	秋田市山王四丁目 1 - 2
施設面積	11,324.64 m ²	建設年	S43
構造・階数	RC造・6階（地下1階）	台帳価格	400,497,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>・主に、県の地方機関としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

・主に地方機関としての施設ではあるが、敷地は県庁舎等と隣接している。建設年度の早い本庁舎の建替えの際には、庁舎、議会棟、県庁第二庁舎、県警本庁舎を含め、施設のあり方について検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建築後50年以上経過しているが、平成23年に耐震改修を終えており構造的には健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

・目標使用年数経過後は、点検・診断等を行い、建替え時期について検討する。

4 管理上の課題等

・設備の老朽化による小規模な修繕の頻度が年々増えつつある。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

5 管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、渡り廊下外部塗装をはじめ、順次、放送設備、空調設備、屋内消火配管、受変電設備、エレベーター設備等を更新することにより、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田地方総合庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	屋上防水改修、蓄電池更新ほか	61,363	
H28	玄関誘導ブロックほか床修繕など小破修繕	1,291	
H29	PH内壁防水修繕など小破修繕	6,028	
H30	執務室内部修繕など小破修繕	778	
R1	トイレ便器修繕など小破修繕	3,631	
R2	エレベーター更新、外壁改修設計ほか	91,222	
R2	トイレ便器修繕など小破修繕	2,628	
R3	外壁改修	32,692	
R3	トイレ便器修繕など小破修繕	1,963	
R4	トイレ他改修	26,070	
R4	トイレ便器修繕など小破修繕	2,094	
R5	空調自動制御設備改修	167,200	
R5	エアコン修繕など小破修繕	711	
	(合 計)	397,671	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	41,570	39,904	40,296	
運用コスト	19,152	20,203	18,775	
修繕コスト	6,752	13,366	0	
その他	0	0	0	
(合計)	67,474	73,473	59,071	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

3	施設名	秋田県庁第二庁舎
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田県庁第二庁舎	所在地	秋田市山王三丁目 1 - 1
施設面積	19,314.96 m ²	建設年	H11
構造・階数	SRC造・8階（地下2階）	台帳価格	2,931,230,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

・ 県の本庁機能としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

※ 集約・複合化の検討について

県庁舎、秋田地方総合庁舎等の建替え時には、第二庁舎の転用など集約・複合化を含め、施設のあり方について検討する。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・ 耐震基準を満たし構造的に健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

・ 比較的新しい施設で管理上大きな課題はないが、今後、設備機器等が耐用年数を迎えるため、大規模修繕費の増大が見込まれる。
 ・ LED照明化などの省エネ改修を終えている。さらに省エネのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術の導入を図る。

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> ・構造は健全であるので、空調設備の部分改修、照明制御装置更新をはじめ、順次、総合防災盤、空調設備、無停電電源装置蓄電池、視聴覚設備、受変電設備等を更新することにより、防災拠点としての機能を維持するとともに、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。 ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。
--

6 管理に関する実施計画

秋田県庁第二庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	空調設備改修設計、照明制御設備更新設計ほか	1,158	
H28	大会議室視聴覚設備修繕など小破修繕	1,291	
H29	空調設備改修、照明制御設備更新ほか	81,508	
H29	地下倉庫照明器具修繕など小破修繕	1,149	
H30	総合防災盤更新、玄関ホール天井改修設計ほか	25,267	
H30	1階通路床他内裝修繕など小破修繕	1,566	
R1	玄関ホール天井改修	43,087	
R1	自動ドア装置交換修繕など小破修繕	7,179	
R2	大会議室視聴覚設備修繕など小破修繕	10,127	
R3	電話設備HUB修繕など小破修繕	4,888	
R4	無停電電源装置改修、エレベーター改修設計ほか	44,748	
R4	エレベーター修繕など小破修繕	3,620	
R5	エレベーター改修、非常放送設備更新ほか	192,840	
R5	電話設備HUB修繕など小破修繕	7,622	
R6	エレベーター改修、大会議室視聴覚設備改修ほか	331,620	
	(合 計)	757,670	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	49,083	50,625	51,154	
運用コスト	57,357	57,134	45,224	
修繕コスト	26,408	57,327	107,427	
その他	0	0	0	
(合計)	132,848	165,086	203,805	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

【総括表】

部局(庁)名	出納局
--------	-----

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(職員公舎(一定規模を超える施設))

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	職員公舎(矢留)	秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	職員公舎(川尻)	秋田市	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

両施設とも、秋田市内の複数棟から構成される大規模な職員公舎となっている。
職員公舎の効率的な運用を図る観点から、秋田市内の小規模な職員公舎の集約化を行い、両施設については長寿命化対策を実施しながら、引き続き存続させる。
なお、目標使用年数を経過する施設は、順次、計画的な建替を行う。

1	施設名	職員公舎（矢留）
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（矢留）	所在地	秋田市千秋矢留町
施設面積	11,313.05 m ²	建設年	S45
構造・階数	R C造・4階	台帳価格	801,975,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田市内にある大規模な世帯用職員公舎であり、入居需要が高く、所在地域の活性化などにも配慮し、引き続き存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

・施設の建設や維持管理等に民間の資金、経営能力等を活用するなど、P F I 事業の導入の可能性を検討する。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・昭和45～48年建築の6棟については大規模修繕を終えており、平成8～9年建築の3棟については、今後、大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。 ・目標使用年数経過後、建て替えの際には、戸数の設定、P F I 等の整備手法を検討する。
--

4 管理上の課題等

・全棟とも耐震基準は満たしているものの、平成8～9年建築の3棟については修繕の頻度が増えつつあり、今後10年以内に大規模修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

次の方針により、現状（機能）回復と同時に、予防保全のための長寿命化対策工事を計画的に実施する。

- ・ 防災、防火上の観点から安全上必要と認められるもの
- ・ 点検、診断により、劣化、損傷等が認められるなど、重大な故障となる恐れが高いもの
- ・ 躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（矢留）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	7－33棟外壁一部改修工事	1,784	
H28	内部修繕	1,217	
H29	内部修繕など小破修繕	6,481	
H30	4－20棟外壁修繕	648	
R1	7－33棟外壁修繕工事	24,397	
R1	ゴミ集積所更新補修など小破修繕	4,117	
R2	7－33棟北側外壁補修工事ほか	12,334	
R2	5－21棟小屋扉修繕	2,475	
R3	7－33棟屋上防水工事ほか	15,631	
R4	7－31棟屋上防水工事	18,260	
R4	7－30棟他外壁修繕など小破修繕	3,020	
R5	5－21棟ほか外壁等劣化部修繕	1,425	
	(合 計)	91,789	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,404	6,525	6,282	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	9,861	25,368	9,068	
その他	0	0	0	
(合計)	16,265	31,893	15,350	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	142	137	141	全161戸中

※各年4月1日における入居戸数

2	施設名	職員公舎（川尻）
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（川尻）	所在地	秋田市川尻上野町6-33
施設面積	8,808.52 m ²	建設年	H元
構造・階数	R C造・4階	台帳価格	385,830,011 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>・秋田市内にある大規模な世帯用職員公舎であり、入居需要が高く、所在地域の活性化などにも配慮し、引き続き存続する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

・施設の建設や維持管理等に民間の資金、経営能力等を活用するなど、PFI事業の導入の可能性を検討する。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

<ul style="list-style-type: none"> ・今後、大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。 ・目標使用年数経過後、建て替えの際には、戸数の設定、PFI等の整備手法を検討する。
--

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・全棟とも耐震基準は満たしているものの、建築後27～28年経過し修繕の頻度が増えつつあり、まもなく大規模修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

次の方針により、現状（機能）回復と同時に、予防保全のための長寿命化対策工事を計画的に実施する。

- ・ 防災、防火上の観点から安全上必要と認められるもの
- ・ 点検、診断により、劣化、損傷等が認められるなど、重大な故障となる恐れが高いもの
- ・ 躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（川尻）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	内部修繕など小破修繕	3,685	
H29	内部修繕	5,090	
H30	5号棟屋根防水工事	19,734	
H30	内部修繕など小破修繕	2,887	
R1	給水ポンプ交換修理など小破修繕	3,777	
R2	消防設備修繕	5,170	
R3	水道メーター交換など小破修繕	4,045	
R4	非常照明器具交換など小破修繕	4,422	
R5	外灯修繕	521	
	(合 計)	49,331	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,473	4,488	4,388	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	6,369	1,768	5,107	
その他	0	0	0	
(合計)	10,842	6,256	9,495	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	85	81	97	全112戸中

※各年4月1日における入居戸数